

SIESTA

体に効く・心に効く
医療情報誌
＜シエスタ＞
2013年 冬号
(通巻76号)

Q & A わたしの元気のつくりかた

中川 誼美 お宿吉水 女将

- **interview** 医師は天職
武田純三 慶應義塾大学病院
- **reportage** 医療施設を歩く
心臓病センター榊原病院
- **news** 世界の最新医療・健康ニュース
- **selection** シエスタの時間
- **food** 開店! シエスタ食堂

JMS

Q&A

わたしの元気のつくりかた

お宿吉水 女将

中川 誼美

—中川さんにとって、最も心地よい一日のスタートを教えてください。

夜、遅くに休んでも、朝は5時頃に起きてご飯をつくりまします。家族が揃うのは朝くらいですから、きちんとした朝ご飯をいただきます。朝、お腹がすいて起きること、ちゃんと排便があることが一日の健康のバロメーター。人間は「生き物」ですから、体がなにを欲しているか聞きながら、体にいい食べ物を入れてあげるのが大切でしょ？ 忙しく飛び回っていても、なるべくお弁当をもっていきます。外食しても、あとで梅干しを食べたりして、自分で調整するんですね。

それから、なるべくラジオ体操をするようにしています。いかに普段使っていない筋肉を使うのかがわかって、なかなか快適ですよ。なにも費用がかからないですしね(笑)。

—1998年、55歳のときに京都に「お宿吉水」を開業されましたが、きっかけは

なんだったのでしょうか？

その頃、子育ても終わって、自分の思いを表現する「場」がほしいと思っていました。私は二人姉妹で、結婚後も両親の家の別棟に住んで、夫の会社の経理をしていたんですが、アシスタント的な仕事です。いろいろ考えてた時期に父が亡くなって——。自分のアイディアでなにかするときに来たんじゃないかと思いました。どうしても思えませんでした。

それで、ずっと関心のあった「食」をテーマに、90歳、100歳でもお元気なお年寄りが若い頃に何を食べてたかをお聞きして、本にしたいと思いました。それです。京都にいる知り合いのおばあちゃんにインタビューに行っただけです。その頃、母が京都に家を探していたので、取材後、友人が教えてくれた円山公園にある家を見に行きました。桜が満開の数寄屋造りの宿屋で、一目ぼれ！「ここが私が表現したかった場所だ！」って。

た場所だ！」って。

ところが、円山公園内は百年前から建物に各々の職業が決められていました。宿屋はあくまで宿屋業を続けなければなりません。なにはともあれ、この建物と環境をどうしても守りたいと思い、後先考えずに売買契約書に判子を押ししました。それから3カ月後、祇園祭にはもう宿屋をオープンしていったんです。

—すごい決断力ですね！

—いまでは国内外のお客さまに愛されるお宿ですが、どんな工夫をされたのでしょうか？

結婚してすぐの1970年にアメリカのウッドストックに住んだんですけれど、そこでの経験が原点です。たまたま夫の親友のアメリカ人とフランス人のご夫妻がウッドストックに住んでいて。本当はニューヨークに住みたかったんですけどね(笑)。

当時のウッドストックは、自然に帰ろうというヒッピー・ムーブメントの中心地で、友人一家も、森のなかの小さな家でテレビを持たず、有機野菜をつくり、粉からパンをつくる生活をしていました。1年数カ月後には、衣食住のすべてが自然に沿った生活が、すっかり私のなかに根づいてくれました。

移動は船と自動車と車でしたけれど、途中の町で泊まったツーリストホームをこのお宿にあてはめようと思って、まず、部屋からテレビと金庫と冷蔵庫、内線電話もとってしまいました。御用があったら大きな声で呼んでください(笑)。

京都にはたくさんお料理屋さんがありますが、すから、朝だけオーガニックのご飯を用意して、パンはお客さまに焼いていただく。シーツは化学洗いやなく水洗いにして、お布団もお客さまに敷いていただく。そのかわり夜は、お客さまとお茶を飲みながら、1時、2時まで人生相談なんかを聞いてましたね。

中川 誼美 Yoshimi Nakagawa

東京都出身。慶応義塾大学商学部卒業。結婚を機に滞在したアメリカ・ウッドストックでの人と自然にやさしい生活の実践を活かし、55歳で「お宿吉水」を開業。安全な食材や商品を直接消費者に届ける朝市を築地本願寺はじめ各地で主催するほか、調理教室、講演などを通して日々の暮らしをおろそかにしない、命を大切に暮らす方の提案を続けている。著書に「ちょっと前の日本の暮らし」(2010・中公新書ラクレ)、「本当に大切にしたい日本の暮らし」(2011)、「本当に大切にしたい日本のごはん」(2012・共にWAVE出版)。

WAVE出版刊「本当に大切にしたい日本の暮らし」より
撮影：工藤ケイイチ



東京都の山すそにある、かやぶき屋根の宿「あやべ吉水」





豊かな自然に恵まれた綾部では、春にたくさんの山菜が顔をだす

暮らしがあつての人生。 自分の体が本当に望んで いるものはなんなのか、 いただいた命に責任を 持って暮らしたいですね。

—その十年後には、奥京都の農村で
お宿「あやべ吉水」を始められました。

村で評判の料理旅館が閉まるので、なにか有効利用できないかと相談を受けて。山に囲まれて、小川が流れ、敷地内に古墳があるんです。日本の田園風景そのものの土地に、築二百年のかやぶき屋根の古民家……それじゃあ、地元農家さんと組んで「ちよつと前の日本の暮らし」が体験できるお宿にできないかと思つて。畑の野菜を自分で収穫していただいて、野に生えてるヨモギやツクシなども摘んで、伝統製法のお味噌やお醤油でご飯をつくつて、みんな

で囲炉裏を囲んでいただく。お米はかまどで炊いて、お風呂も薪のお風呂です。そういう少し前には当たり前だった生活のなかの労働も体験できる場所にしました。

いま、効率が優先されて、「暮らし」がおろそかにされてると感じるんです。でも、暮らしがあつての人生ですよ？ 生物としての肉体が本当に望んでいるものを無視せず、いただいた命に責任を持つということ。食べるものに関しては、大げさに言うと、縄文時代になかったものは要らないんじゃないかしら。自然本来の甘みや旨みをどんなに体が欲しているかは、体験しなければわかりませんから、全国にこういう場所を増やしていこうと思つています。

—日々の生活で、なにか変えていきたいと思つたとき、なにか始めればいでしょうか？

まずペットボトルを買わないこと。夜、お湯を沸かしておいて、朝、水筒に入れて持ち歩けばいいんじゃないかしら。それから、お弁当を買う代わりにご飯を炊いて、朝、一膳食べて、おにぎりを二つ作つてもいい。残りはお茶碗に入れて冷蔵庫に入れておいて、帰ってきたら、小さなお鍋に水をはつて、お茶碗ごと入れてふたをして火にかければ、お茶碗ごとあたたまりますね。

お米は、白米じゃなくて三分づきがいいです。ビタミンやミネラル、食物繊維も残っていますから、おかずも鮭を焼いたのに、梅干し、黒ごまくらいでいいんです。30分くらいあればできます。厳しい言い方をしますが、忙しくて30分が割けないというのは怠慢ね。これをしばらく続けると、きつと体が納得すると思えます。特に女性には気づいてほしいですね。

—中川さんの「エネルギーの源」は
「なんでしょうか？」

私は退職してからが本気の人生の始まりだと思つています。自分がそれまでに確立した理念を自分の好きな形で表現し、実行して、少しでも社会にお返しをしていく、人生の次のステージです。子育てしたり、家族を養うために働いてる期間はプレリユード。私も55歳からやりたいことを始めて、ぜんぜんスピードダウンしませんが（笑）。お宿のほかにも、有機野菜の朝市や、50度洗いと低温調理の教室をやるなど、「命を大切に暮らすの提案」という方向性で、やりたいことがいっぱいあります。

去年は、「美しい日本を残すために協力し合う会」と銘打って、戦前のなにもない時代に生きた人生の先輩たちに「なにを大切に暮らしてこられたか」をうかがって、その方々の智慧と技をみんなでお伝えしていく会も始めました。図らずも1998年に私がやりたかったことに戻ってきた感じです。そうやって、一つずつ、お一人ずつに伝えていきたいと思つています。手は抜けません。それにはエネルギーを蓄えておかないとね。

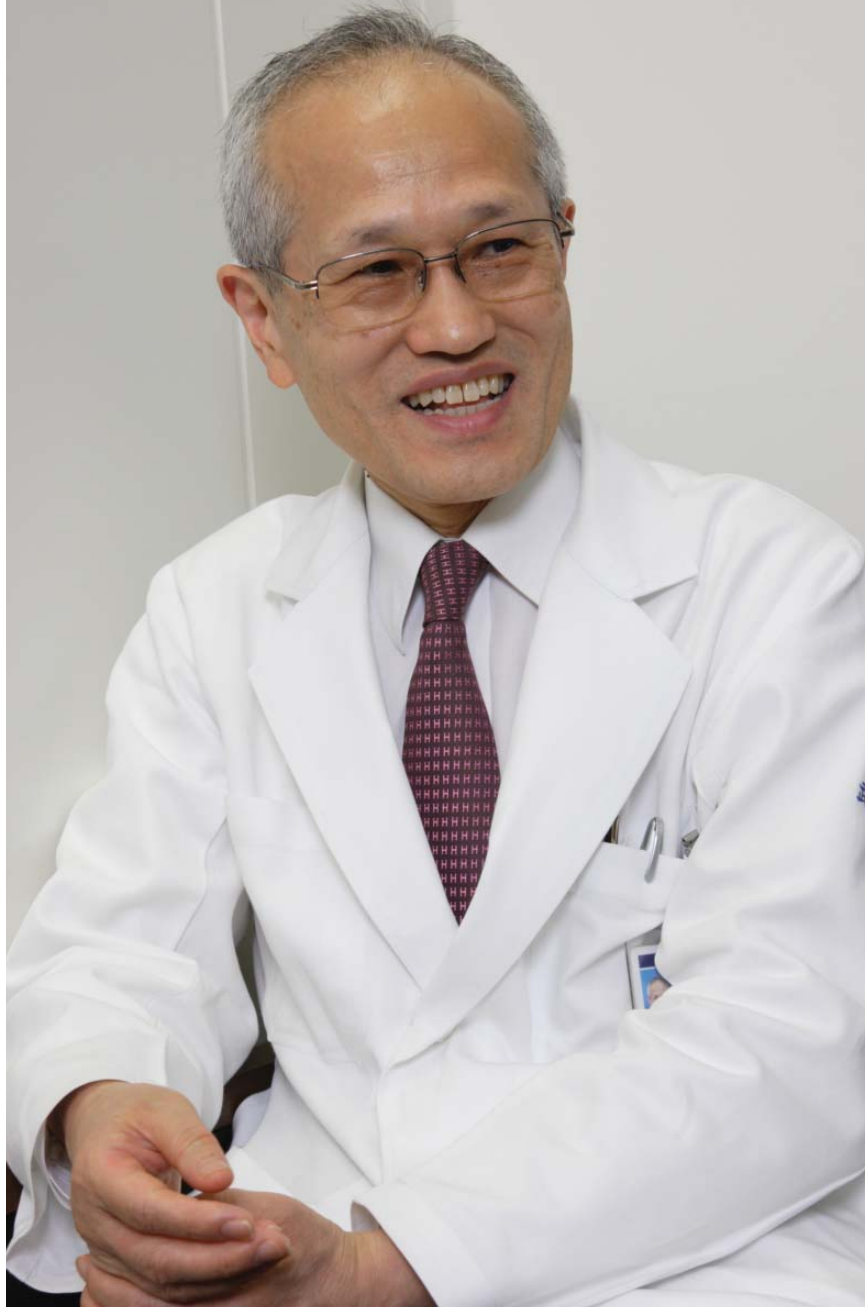


祇園にほど近い、円山公園奥の宿「京都 吉水」

掴んだだけではチャンスにはならない
努力してはじめてチャンスとなる

武田純三

慶應義塾大学病院 院長



神奈川、埼玉、千葉の各県境から電車で45分、JR信濃町の駅から降りてすぐ目の前という交通至便な場所にある慶應義塾大学病院（以下、慶應病院）。しかも、日本でも有数の医療レベルの高さを誇るとなれば、病院の周辺地域だけでなく、関東近郊からの外来患者も多いというのもうなずける。その数1日約4000人。

敷地内では、今、建物のリニューアル工事が懸命に進められている。2017年までには新病棟も建てられる予定だ。

この慶應病院を2009年から率いているのが武田純三氏だ。高校から慶應義塾という慶應ボーイ。という、育ちがよく、ともすると派手なことが好きな人柄をイメージしてしまうが、これまでの歩みを伺うと、むしろ道端に

ひっそりと咲く花に目を向けるような、そんな生き方を好んでこられた感がある。そこには常に、時流や世間の評価に惑わされない高い目標と努力があった。

**学生時代に打ち込んだ
無医村活動。
医療人の形成に
大きな影響を与える**

武田氏の出身は愛知県名古屋。母方の実家が薬問屋だったことから、両親から医者になるようにと幼い頃から言われて育った。その両親の勧めで慶應義塾高等学校に入学。1967年、そのまま慶應義塾大学医学部に進んだ。医学部の学生時代は、授業よりもクラブに夢中になった。その活動は武田氏の医療人としての形成

に大きな影響を与えたという。

クラブの名前は医事振興会。今でも熱心な活動をしているクラブだ。ただし活動内容は時代とともに変遷している。

同クラブが発足した1950年代後半は、今と違って寄生虫による病気が多く、無医村も珍しくなかった。クラブ員は無医村に向いて寄生虫検査をし、駆虫薬を出すといった医療活動に取り組んだ。その後、日本が高度成長期に向かうにつれ、清潔な環境が整うようになり、無医村での診療活動から公衆衛生活動、保健活動へと軸足を移していった。武田氏が医事振興会に入部したのは、ちょうどその移行期に当たる。

「かつての無医村も道路が通るようになっていましたが、それでも冬になると雪に閉ざされる地域がまだ残っていました。雪上車に1時間乗って、さらに3〜4時間歩いてやっとたどりつくような地域によく出かけました」と武田氏は振り返る。

武田氏は患者宅を熱心に訪問。そこで、診療所に来院したときとはまったく違う、家族とともにいる患者の普段の顔を見ることになる。

「生活の中に入ってみると、患者さんは一人ではなく家族がいて、その中でどのような立場や関係

にあるのかに気づかされます。すると例えば、患者さんは家に帰りたいと思っているけれど、家族はそう思っていないかった、あるいは逆に本人は帰りたくなくても家族は帰ってきてほしいと思っ

ているといった本当の気持ちがかかってきます。それを承知したうえで患者さんや家族と接すると、信頼して私たちの話を聞いてくれます。医師には学問的知識だけでなく、患者さんや家族との信頼関係を築くスキルも必要だということをおこの無医村活動を通して学ぶことができました」

診療室の中だけにあると、医師は患者のよそ行きの顔しかわからない。武田氏は自らの経験から、今の若い医師たちに、できれば訪問診療をしてほしいと願う。もしそれができなくても、せめて目の前の患者だけでなく、その患者には家族がいることを忘れないで対応してほしいとアドバイスする。

自由度が高く テリトリーを広げられる と、麻酔科を選ぶ

武田氏の専門は麻酔科だ。今こそ麻酔科医の重要性は認められているが、武田氏が麻酔科に進んだ頃は、麻酔科医は「麻酔屋さん」と呼ばれ、医師の間でも

評価は高くはなかった。そのため、武田氏が麻酔科を選んだことを知った友人たちは一様に「どうして？」と不思議がり、家族も「せっかく医者になったのに」と落胆したという。

しかし当の武田氏は、そんな周囲の反応は一向に気にならなかった。なぜならば、麻酔科ほど自由度の高い診療科はないと思っただからだ。例えば、婦人科の医師が胃がんの手術をすることはまずあり得ない。同じように消化器科の医師が子宮がんの手術をすることも少ない。ところが、麻酔科医は違う。胃がんの手術にも、子宮がんの手術にも麻酔は欠かせないから、両方の手術に関わる。

つまり、麻酔科医は、横断的に多くの診療科に関わることができる。唯一と

いってもよい科なのだ。「自分のテリトリーをどんどん広げていける、これは面白そうだと思ったのです」と武田氏はこのやかに語る。

そのことを武田氏が確信したのは医師になって間もなくのこと。国立小児病院(現国立生体医療研究センター)で研修をしていたときの麻酔科の医長がアメリカ留学から

戻ったばかりで、アメリカのスタイルを診療に取り入れていた。それまで日本の麻酔科医は手術室で麻酔をかけるだけの、執刀医の補助的な存在だった。ところがその医師は外来や各科の病棟の診療にも積極的に関わり、病院中を走りまわっていた。「それを見たとき、これが麻酔科医の本来の姿だと感じました」と武田氏は話す。

それから40年近く経ち、麻酔科医の環境は大きく変化した。各科の手術はもろもろのこと、集中治療、ペインクリニック、緩和医療と麻酔科医が活躍するテリトリーは確実に広がっている。さらに、専門分化の方向へも進み始めている。その一つに武田氏が理事

長を務める日本心臓血管麻酔学会がある。ここで育成しているのが経食道心エコーを扱え、診断ができ、心臓外科医と治療方針を相談して決めることができる心臓手術専門の麻酔科医だ。

そのほか、新生児や3kgに満たない未熟児、先天性の奇形をもつ小児を専門とする小児麻酔、異常分娩も含めた出産時の麻酔を行う産科麻酔などのスペシャリストの育成も盛んになっている。

「これからは在宅医療も麻酔科の領域になっていく」と武田氏は予測する。

今、厚生労働省は増え続ける医療費を抑制する狙いもあって、施設から在宅への流れを推進してい



る。しかし、例えば施設で人工呼吸器や人工肛門、硬膜外麻酔のPCAポンプをつけている人たちは、在宅でもそれらをつけないと生きられない。そうすると、これまで在宅を主に担ってきた内科の医師だけでは難しくなる。そこで麻酔科の医療が必要になってくるというのが武田氏の見解だ。

もうひとつ興味深いのが武田氏のような麻酔科出身の院長や大学長、学部長が増えていることだ。岡山大学の森田潔学長、琉球大学の須加原一博学部長、獨協医科大学の北島敏光前副学長、和歌山県立医科大学附属病院の畑埜義雄前院長、福島県立医科大学附属病院の村川雅洋前院長等々。

多くの科と関わりながら仕事を進める麻酔科医の能力が、病院や大学、学部といった全体を眺めて動かしていく「長」として求められる資質に合致するからではないだろうか。

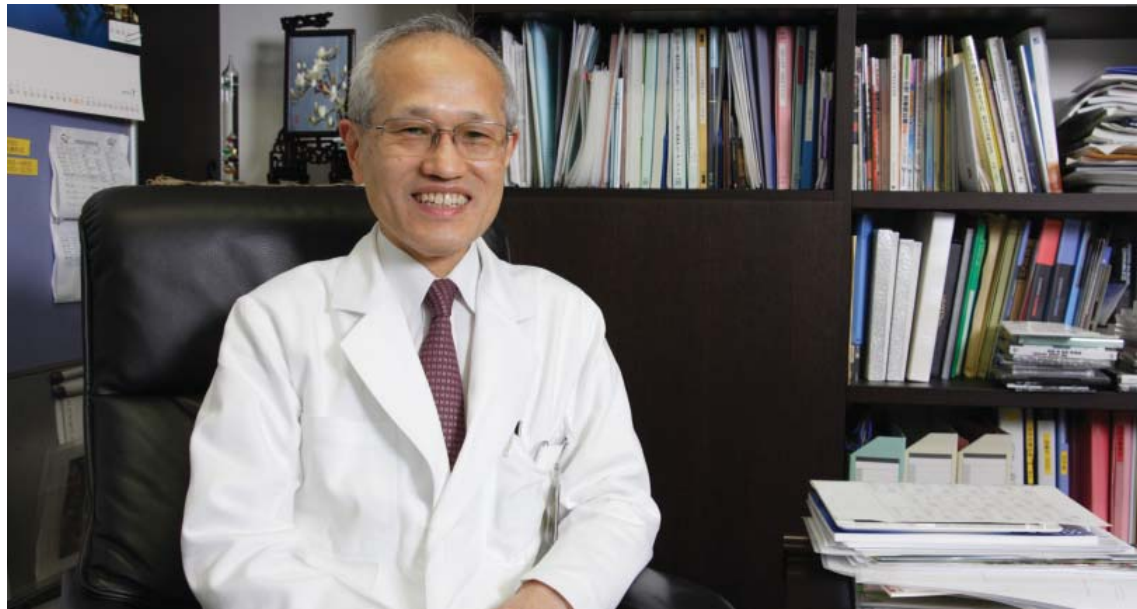
ICUの立ち上げに 携わったのち、 緩和ケアの勉強会を スタート

アメリカでさらに視野を広げたいと思った武田氏は1983年から2年間、メリーランド州ボルティモアにあるメリーランド

大学医学部麻酔科に留学し、救急の実際とシステムの研究を行う。その後、国立東京第二病院（現国立病院機構東京医療センター）を経て、87年に慶應病院に戻る。そこで待っていたのは、ICU（集中治療室）の立ち上げというビッグプロジェクトだった。

ICUではいろいろな科が協力して治療にあたることもある。しかし麻酔科を除けば各診療科は縦割りで、その長はいわば一国一城の主のようなもの。他科と何かを共有するという感覚はまったく持ち合わせていかなかった。しかも武田氏はその時、40歳という若さ。何歳も年上の先輩教授たちを説得してまわらなければならなかった。

「ICUはこれからの医療に絶対に必要だと思っていました。それを実現するためなら、いくらでも頭を下げますという思いで一生懸命取り組みました。私は元々、壁にぶちあたるといふ感覚があまりないので。なぜならば壁の



向こうにある目的に到達するためには、壁は乗り越えてしかるべきものだからです」

武田氏はこう話すが、そうはいっても長い歴史をもつ大病院だ。各診療科の力は相当強かったに違いない。その状況下でICU

を立ち上げるのはかなり大変だったのではないだろうか。武田氏は慶應病院ならではの風土が後押ししてくれたと、同病院を戦艦大和にたとえて説明する。

「船体が大きく、乗組員も大勢いる戦艦大和は、小船のように左右と簡単に向きを変えることはできません。しかし、いったん舵を大きく切ると、その方向にずっと進みます。慶應病院も動きだすまでは時間がかかるけれど、一度動き出すとそちらの方向に皆が一斉に進んでくれるという風土があるように思います」

ICUの立ち上げの際も、最初の5年間は、「こんなものをつくって」「自分の患者に勝手に薬を投与して」など

と、随分批判されたという。しかし、ICUの必要度が高くなり欠かさないことがわかってくると、批判の声はまったく出なくなった。「ちょっと楽をさせてあげる、いい思いをさせてあげると、人はついてくるものです」。これが武田

氏の人心掌握のコツのようだ。ICUの立ち上げに成功したものの、武田氏の心にどうしてもひっかかるものがあった。

「ICUには助かる患者さんしか入れないという約束になっていました。そのため、置いてきた患者さんもたくさんいました。そうした患者さんの面倒をみなくていいのかわという思いがずっとありました」

ちょうどその頃、心肺停止した人に心臓マッサージをすることへの疑問が出るなど、「尊厳ある死とは」という問題意識が社会の中で生まれてきた頃だった。

一方で、医療現場ではターミナルは看護師の仕事であり、医師が手を出すものでもないという認識があった。武田氏は看護師や臨床工学技士に声を掛け緩和医療の勉強会を開き、がん疼痛などの知識を皆で深めていった。そのとき、武田氏が常に抱いていたのは、「自分だったらどのような死を迎えたいか」という自問だったという。

「他人の死にしようと思いません」

武田氏がスタートさせた小さな勉強会は、後に緩和ケアチームという形で結実し、今では精神科、麻酔科、放射線治療科が集まり、サイエンスと温かさのある緩和ケアが患者たちに提供している。



他の施設にない、 高度な医療を提供する 病院を目指す

医療の進展、少子高齢化、膨張しつつける医療費など医療界を取り巻く環境は今大きなうねりをもって変わりつつある。その中で冠たる慶應病院とて、これまでと同じ状態にいては、時代のニ-

ズに合わなくなってしまう。同病院の舵とりを任された武田氏は、どのような方向に進もうとしているのだろうか。

「病院は非常に手狭になっていまして、区の景観条例で高層の建物を建てることはできません。敷地も増やすことはできません。容器に限りがある中で、今以上の患者さんを受け入れることは難しい。

また、収支面を考えると医師の数を増やすこともできません。これを考慮して導き出される答えは、当病院でしかできない医療を提供し、受け入れもそれが必要としている患者さんに絞ることで

す。地方の病院では完結しない病気の場合はうちに来ていただく、それが今の慶應病院が目指す姿ではないかと思っています」

武田氏が示す方向にすでに慶應病院は動き始めている。2010年免疫統括医療センター、11年臨床遺伝学センター、外来

免疫統括医療センター、12年予防医療センター人間ドックと、次々と最先端の医療を提供するセンター



武田氏が立ち上げた神戸の「麻酔博物館」では、来場者に喉頭鏡を持った「麻酔科医キティちゃん」グッズが配られ、好評を呼んでいる。

をオープンさせた。

「他の施設があまりやっていない部分を先んじて展開する戦略です」と武田氏はニコリ。先取の精神も慶應病院の風土なのだろう。

武田氏は、若い医師たちについてもこう話すという。

「チャンスは誰にも来ます。でも掴まなければチャンスにはできません。それを掴むか否かは本人次第。しかし、掴んだだけではまだそれはチャンスになっていません。掴んだら迷わず努力をする。それをして、はじめて掴んだものがチャンスになるのです」

おそらくこれは武田氏のこれまでの人生を踏まえての実感なのだろう。

30代半ばになってから始めたというダイビングも、多忙さゆえにここ何年も遠ざかっている。目下、唯一の楽しみは、奥さまと二人、家で杯を傾けること。ダイビングはまだしばらく再開できそうにない。

先進的な設備と高度な機能 21世紀にふさわしい 医療施設を実現



心臓病センター 榑原病院

岡山県岡山市

榑原 敬 理事長



何冊もの病院ランキング本が出ているが、どの本にも心臓血管手術数、心臓カテーテル治療数において、常に上位に継続してランクインする病院がある。しかもその病院は東京や大阪といった大都市ではなく、地方都市にある。2012年9月移転リニューアルし、ハード、ソフトともについてそう充実し、21世紀にふさわしい医療施設になっている。

増改築を繰り返したが、 ついに限界に。 移転を決意

その病院の名前は心臓病センター榑原病院。心臓病を専門としている医療関係者でなくとも、その名は耳にしたことがあるに違いない。開院は1932年、創立者は現理事長榑原敬^{たかし}氏の祖父に当たる故榑原亨氏だ。

同病院は、開院当初から進取の精神に満ちていた。亨氏は39年心臓の外傷にガーゼを巻きつけて止血する綿紗点絡止血術に世界で初めて成功、また41年には世界初の心臓鏡を開発し僧帽弁閉鎖不全症手術に成功するなど、日本の心臓血管外科の黎明期を支え

た。その後も、当時まだ珍しかった心臓カテーテル検査を59年に全国に先駆けていち早く導入、69年には中国・四国地方で第1号となるCCUを設置、73年心臓手術2000例達成、87年4000例達成、98年大動脈疾患へのステント治療導入、2002年心臓手術1万例達成……と、心臓病専門病院として着実に実績を重ねてきた。ちなみに、現在、心臓手術数はなんと1万5000例を超えている。

一方で大きな課題も生まれてきた。昨今の医療機器の発展は目覚ましいものがあるが、それを導入するには、以前のままの建物では困難な状況が出てきたのだ。胸部大動脈瘤や胸部大動脈解離に対する低侵襲治療として、ステントグラフト内挿術が行われる時代となったが、効率よく治療するためには、X線撮影装置と手術台が一体となったハイブリッド手術室が必要である。しかし、既存の建物には改装工事しても設置できないのだ。

これまで同病院では、増改築を繰り返すことでなんとか時代のニーズに対応してきた。しかし、それにも限界があった。というの

も、病院が建っていた岡山市北区丸の内は日本三大名園のひとつに数えられる後楽園の近くで、県の条例により周辺は高層建築物をつくることが禁止されている。そのため、これ以上、拡充することは難しかったのだ。残された方法は移転しかなかった。

移転先を探しはじめたものの、病院を建てられるほどの広い面積をもつ土地は市街地にそうあるわけではない。数年かけてようやく最適の土地が見つかった。それまでの場所から直線距離で1.5キロほど離れた、クラブウ岡山工場跡地だ。これなら余裕をもった建物をつくることができる。そ



◀旭川の豊かな流れを一望できる新病院



▲手術室はハイブリッド手術室2室を含め7室を備える

▲最新の320列マルチスライスCTで急性期の疾患にも対応

れまで駐車場が狭く、来院者に迷惑をかけていたが、それも解消できる。2009年、正式に移転計画が発表された。

先進的な設備と 高度な機能を備える 新病院

計画発表から3年、創立80周年に当たる2012年9月18日、系列のいしま病院を統合して、心臓病センター榊原病院が開院、新たな一歩を踏み出した。

本棟は7階建て、延べ床面積は3万9000㎡、病床数は297床（うちICU30床、HCU20床）。この中で特筆すべきは何とんでも医療機器・設備の充実ぶりだろう。320列・64列CT、1.5テスラMRI、アイソトープによるシンチグラフィ、最新鋭血管カテーテル装置、不整脈に対するカ尔特3、心臓カテーテル室6室、ハイブリッド手術室2室を含む7室の手術室など、全国に数ある医療施設の中でもこれほど揃っているところはそれほど多くはないはずだ。

敬氏は言う。「大動脈疾患のステント治療を行うためにハイブリッ

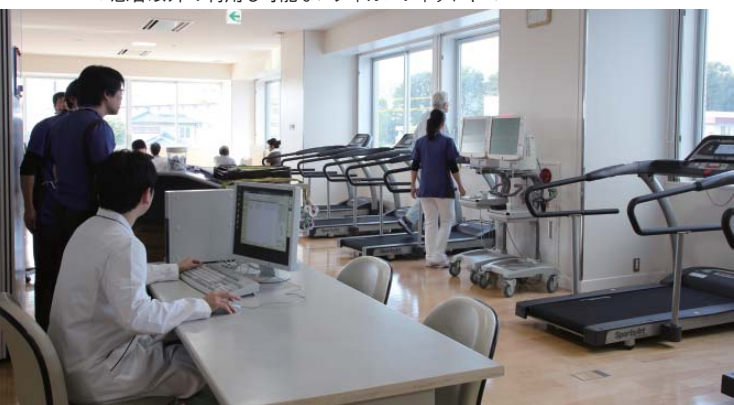
ド手術室をどうしてもつくりたかったのです。これをつくるために移転を決めたといっても過言ではありません。この手術室を設けたことにより、病客さまに、より低侵襲かつ効果的な治療が提供できるようになりました」。

この低侵襲治療は、同病院がずっと追及してきたことだ。これまでも、胸骨を切開せずに肋間から小さな傷で弁置換術を行うポータアクセス法、人工心臓を用いずに心臓を止めないで行う冠動脈バイパス手術(CABG)、大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術、心房細動に対する心筋焼灼術などを積極的に取り入れてきた。

さらに付け加えるならば、敬氏の言葉の中にあつた「病客さま」という言い方も、開院当初から。今でこそ、医療はサービスのひとつと捉え、「患者さま」と呼ぶ医療機関が珍しくなくなったが、今から80年も前に、「医療を受ける側も行う側も対等に病気に立ち向かう」との考えをもっていたのは、亨氏がいかに人々のための医療の実践を目指していたかが、「病客さま」の一語からも伺える。

同病院は以前からリハビリにも力を入れていたが、新病院とな

▼患者以外の利用も可能なメディカルフィットネス



ってそれがさらにパワーアップした。旧いしま病院の理学療法士が加わり、リハビリ専門スタッフ数が倍増。より多くの患者の対応が可能になった。リハビリセンターには、歩行困難な人の下肢筋力を鍛える足こぎ車いすなどが用意され、窓から陽光がふりそそぐ明るい雰囲気の中でリハビリに励むことができる。同センターに隣接して、25m3列のプールもあり、脳血管障害や運動器、呼吸器のリハビリにも対応している。これらの一部は医療法42条施設になっており、メディカルフィットネスとして生活習慣病やメタボ

二重回線にするなど 非常時への備えも 万全に

などの予防対策のために患者以外の利用も可能になっている。

一昨年の東日本大震災の際、被災地の多くの医療施設で停電が起き、機器を再起動できずに治療に支障を来したといわれる。中には人工呼吸器が使えなくなり、手で酸素を送ったという話もあるほどだ。以来、震災などの非常時の備えが医療施設の緊急の課題となったが、これについても敬氏





◀芝生の庭にはリハビリに利用できる
1周 200mの遊歩道も

は「当院は斬新な設備になっています」と胸を張る。

通常、医療施設の電気配線は1回線になっている。そのため、例えば年1回の定期点検のときには、診療は否応なしにストップせざるをえない。もし、そのときに緊急患者が搬送されてきても十分な対応はできない。24時間365日の救急受け入れを標榜している同病院にとって、それは絶対に避けなければならない。もちろん、震災などの災害時も同様

地震などにより排水管のジョイントが外れることがあるが、これに対しても手術室や厨房など拠点部分の天井を二重化することで清潔エリアを保持できる構造にした。

「全建物を免震構造にするにこしたことはありませんが、一民間病院がそれをするにはコスト的に難しい。それならせめてと、建築基準法の1・25倍の耐震構造にし、最低限必要なところは二重構造にするという方法を選択しました」

で、今回採った策は二重回線だ。「大半の医療機関では心臓カテーテル装置の電源が一度落ちてしまうと、再起動はできません。しかし、当院は再起動できる日本屈指の電源能力を確保しています」

また、同病院の屋上に設けたヘリポートは、3・5トンのドクターヘリだけでなく、災害拠点病院に指定されているわけではないが、万一の時のために6・2トンの防災ヘリも離着陸できるものにした。

衛生管理も徹底している。ISO 22000を取得し、HACC

Pで認証された食品工場なみの厨房、衛生資材とゴミとの物流配送の完全分離などを実現させた。また、院内感染対策に関する専門看護師を中心としたチームスタッフを配置し、最大限の予防を講じている。

今もつとも社会的関心の高い省エネやエコについても、窓を大きくとり自然光が入るようにしたり、風の流れを計算した設計にするなど、積極的に取り入れられている。庭の散水は雨水を貯めて利用するという細やかな配慮も施されている。

心臓血管外科手術で豊富な治療実績をもつ 坂口氏を招聘

移転を機に、ソフト面での強化も図った。「心臓移植をはじめ心臓血管外科手術で豊富な治療実績をもつ大阪大学准教授の坂口太一先生を副院長に迎えることができ、先端医療のレベルアップを果たすことができました」と敬理理事長は喜ぶ。

坂口氏は、米国最大の心不全移植センターであるコロンビア大学で心臓外科医として活躍し、帰国

後は大阪大学先進心血管治療学講座准教授になり、心臓の先端的治療に取り組んできた。その坂口氏の副院長就任は、スタッフたちに大きな刺激になっているという。

医師や看護師、放射線技師、臨床検査技師など多職種によるチーム医療も、以前にもまして活発に展開されるようになってい。そして、何よりも新しい施設になることで、スタッフたちの仕事へのモチベーションが一気に上がった。例えば、オープン前の内覧会で予想以上の来場者があり近隣住民に迷惑をかけたと、事務部門の職員たちが建物の周りの道路を定



ヘリポートは建物から1/3突き出し、ICU、手術室などへ乗り換えなしで患者を搬送できる▶



期的に掃除するようになった。こうした自主的な活動は各部署で少しずつ増え始めている。

また、入院患者にとって食事は大きな楽しみだが、カロリー制限や減塩など制約があっても美味しく食べられるように、元割烹の板長が腕をかけた特別食を提供できるようにしてきた。

進む病診連携。 CABGの大半は 診療所からの紹介

緊急の心臓疾患や大血管疾患の場合、30分以内に医療機関に搬送

しないと救命率が上がらないとされている。30分以内に搬送されてきても、医療機関側が対応にもたついていては救えないことになりかねない。同病院では心臓血

管外科の緊急手術が2列できる態勢を整えた。「神戸以西では当院以外ありません」と敬氏は強調する。

厚生労働省では医療機関の役割分担を積極的に進めているが、同病院では1995年に地域医療連携室を開設し、病診連携に努めてきた。これについて敬氏は次のようにコメントする。

「東京地区でも大阪地区でもないのに、当院の心臓血管手術件数が多いのは病診連携のお陰だと思っています。例えば、CABGの院内発症例は5%ほどしかなく、90%以上は他の医療機関からの紹介です。この数字を見ても、いかに連携が深まっているかがわかります。東京以外の地方都市で、医療機関の役割分担が進んでいるのは、多分ここ岡山と熊本ぐらいではないでしょうか」

30分以内搬送という意味では、県下の市町村からのドクターヘリへの期待は大きい。9月オープンからわずか2カ月の間に、すでに3件のドクターヘリによる搬送があった。そのうち1件は四国からの搬送という。ただし、敬氏自身は、「雨だけでなく強風や霧が出る」とヘリは離発着できませぬし、夜間も飛ぶ設備がないので

利用できません。期待しすぎはいけません。搬送30分圏内に対応できる医療機関を整備することが大切です」と釘をさす。

患者が求める 最高の医療を 提供しつづける

かつての健康診断は早期発見・早期治療のために行われた。しかし、最近では、単にそれだけではなく、メタボ健診に象徴されるように、病気になる前段階から介入し、生活習慣の改善を図るようになってきた。「診療面においても同じことが求められる時代になってきていると思います」と敬氏は言う。

心疾患の場合、多くは背景に動脈硬化がある。心臓の血管の詰まりをいくらか治療しても、それはいわば対症療法でしかない。脂質異常症や糖尿病、高血圧などをコントロールしなければ動脈硬化は進み、再発の危険は大きい。

同院では、以前から祝日を除く毎日、入院患者を対象に生活習慣病教室を開催し、病気の理解を促してきた。先に紹介したメディカルフィットネスも予防対策としての役割を担う。また、新病院では少

しでも体を動かすことに親しんでほしいと、敷地内に1周200mの散歩コースを設けた。小さな試みかもしれないが、それらを提供し続けることが、地域住民の健康への意識を高め、最後まで元気に暮らせることにつながると敬氏は確信している。

取材の最後に敬氏に、新病院にもし点数をつけるとしたら何点かという質問をぶつけてみた。敬氏の返事は「75点」だった。

「現在、私どもの力でできることはほとんどこの建物に具現化しました。ただ、時間が経てば、また新しい医療がどんどん開発されてきます。それを見込んで、この建物は新しい医療機器などが開発されても、対応できるようにスペースなどもかなり余裕をもって造りました。しかしそれでも対応が不十分になるかもしれません。そうなれば、75点が70点に下がるかもしれません。また、治療もiPS細胞などが用いられるようになれば、今の治療は時代遅れになるかもしれません。私たちは、100点というゴールに向かって、永遠に走り続けなければならない。いや、スタッフ一丸となって、走り続けるつもりです」

世界の最新 医療・健康 ニュース

紅茶をよく飲む国は2型糖尿病が少ない

WHOの世界健康調査参加50カ国のデータを調べたところ、紅茶をよく飲む国は2型糖尿病の有病率が低いという結果が得られた。スイスのデータ・マイニング・インターナショナルのアリエル・ベレスニアク氏は、紅茶の消費量と、糖尿病、癌、呼吸器疾患、感染症、心血管疾患などの有病率を比較検討したが、関連がみられたのは糖尿病のみだった。

参考文献: Relationships between black tea consumption and key health indicators in the world: an ecological study. *BMJ Open* 2012;2:e000648 doi:10.1136/bmjopen-2011-000648

空腹時に分泌されるホルモンが寿命を延ばす

テキサス大学サウスウエスタン医療センターのステイーヴン・クリワー氏率いる研究チームの実験によると、空腹時に肝臓から分泌されるホルモンFGF21を多く分泌するように操作したマウスは、食事制限をしなくても寿命が延びることがわかった。オスのマウスでは30%、メスのマウスでは40%寿命が延びた。

参考文献: The starvation hormone, fibroblast growth factor-21, extends lifespan in mice. *eLife*. 2012; 1: e00065.

オキシトシンは男性の浮気を防ぐ?!

ドイツ・ボン大学のルネ・ヒューリマン氏は、平均年齢25歳の異性愛者の男性を2つのグループに分け、一方にオキシトシンを、もう一方には偽薬を鼻腔投与した。45分後に魅力的な女性の前に立たせ、女性との距離を測定した結果、オキシトシンを投与したグループのうちパートナーのいる男性は、女性とより距離を置くことがわかった。女性の代わりに男性を立たせても、このような結果は得られなかった。また、この効果はシングル男性には認められなかった。

参考文献: Oxytocin Modulates Social Distance between Males and Females. *The Journal of Neuroscience*, 14 November 2012, 32(46): 16074-16079; doi:10.1523/JNEUROSCI.2755-12.2012

生後6~12ヵ月に魚を食べはじめると喘息になりにくい?

オランダのエラスムス・メディカル・センターのジェシカ・キーフテ・デ・ヨング氏のチームは、2002年4月から2006年1月にロッテルダムで生まれた7200人以上の子どもの対象にした食事全般についての調査を解析した。その結果、生後6~12ヵ月に魚を食べはじめた子どもは、生後1年間魚を食べなかった子どもに比べて、4歳時の喘息様症状・喘鳴リスクが低いことを示した。

参考文献: Fish Consumption in Infancy and Asthma-like Symptoms at Preschool Age. *Pediatrics*. doi: 10.1542/peds.2012-0875

豆類が豊富な食事で血糖値と血圧が改善する

2型糖尿病患者121人が参加した無作為化試験の結果、豆に重きをおいた低GI食の方が、全粒小麦に重きをおいた高繊維食に比べて糖化ヘモグロビン(HbA1c)はわずかながら低下した。また体重、総コレステロール、トリグリセリド、血圧、心拍、10年間冠動脈疾患リスクも豆類が豊富な食事の方がより低下した。

参考文献: Effect of Legumes as Part of a Low Glycemic Index Diet on Glycemic Control and Cardiovascular Risk Factors in Type 2 Diabetes Mellitus. A Randomized Controlled Trial. *Arch Intern Med*. 2012;172(21):1653-1660 doi:10.1001/2013.jamainternmed.70.

医療記録のオンライン提供は患者の受診を増やす

米国カイザー・パーマネンテ・コロラドの個人医療記録へのオンラインアクセスシステム「MyHealthManager」を利用する44,000人と非利用者を対象にした後ろ向きコホート研究の結果、システムの利用が増えると、受診の回数も増えることがわかった。電話相談、救急・時間外診療、入院なども増加したが、冠動脈疾患を持った患者の医療サービス利用には増加がみられなかった。

参考文献: Association of Online Patient Access to Clinicians and Medical Records With Use of Clinical Services. *JAMA*. 2012;308(19):2012-2019. doi:10.1001/jama.2012.14126.

運動は体だけでなく頭もスマートにする

モントリオール心臓研究所のマーティン・ジュノー氏らの研究によると、太り過ぎであり運動しない平均年齢49歳の成人が、エアロバイクと、有酸素運動と無酸素運動を交互に休憩なしで行うサーキットウエイトトレーニングという高強度の運動を週2回行った結果、4ヵ月後には体重、BMI、体脂肪、腹囲が低下し、運動能力が上昇しただけでなく、思考力、記憶力、判断力などの認知機能も改善されたことがわかった。

関連ニュース: Exercise is smart for your heart - and makes you smarter / EurekAlert

運動は人生の満足度もアップさせる!

いつもより少し多く運動するだけで人生への満足度が高まること、が米国ペンシルベニア州立大学の研究チームの実験調査でわかった。親元を離れての一人暮らし、進学、就職など多くの人生の転機を経験する18~25歳の成人を対象に、190人のグループAは日記に8日間、63人のグループBはウェブ上に14日間、生活の満足度、運動、自尊心などに関する質問に回答。性格特性、肥満度、疲労感などの要因を調整後、特定の日の運動量が生活に対する満足感に影響をおよぼすことを確認した。

参考文献: A Daily Analysis of Physical Activity and Satisfaction With Life in Emerging Adults. *Health Psychology*, Oct 22, 2012

かわいいものを見ると仕事がかどる!

広島大学大学院総合科学研究科の入戸野宏准教授らの研究グループが、大学生132名を対象として実験を行った結果、子犬や子猫などのかawaiiものの写真を見ると集中力が増し、課題を処理する効率が改善することがわかった。幼くない動物や、おいしそうな食べ物写真では、その効果はみられなかった。今回の研究成果は、かわいいものが普及する心理的背景を説明する一つのヒントとなると期待される。

参考文献: The Power of Kawaii: Viewing Cute Images Promotes a Careful Behavior and Narrows Attentional Focus. *PLoS ONE* 7(9): e46362. doi:10.1371/journal.pone.0046362

BioToday.com (<http://www.biotoday.com/>)

●本ニュースは、生命科学分野ニュースのデータベース BioToday.com に掲載された記事の一部を編集して掲載しています。

BioToday.com の会員登録や内容に関するお問合せは、TEL&FAX: 079-272-2459

Eメール: biotoday@biotoday.com まで。

MUSIC

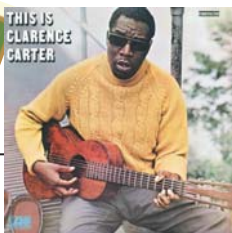
大切な1曲に出会う
リズム&ブルースの
名盤復活!

忌野清志郎も愛してやまなかったオーティス・レディング、サム&デイヴ、ブッカー・T&ザ・MG'sといったリズム&ブルースの名盤が、1,000円で一挙100枚登場。大切なレコードを手放してしまった方も、リマスタリングによって向上した音質で、もう一度あの感動を味わってみては? いずれも50~70年代ポピュラー・ミュージックの至宝と言えるアルバムばかり。初めて手にする方も、必ず一生大切にしたい曲に出会えるはずだ。直営webストア「ワーナーミュージック・ダイレクト」から購入すると、CDのタイトルにちなんだ「グリーン・オニオンの種」(九



条ネギの種)を
プレゼント。

●アトランティック・レコード65周年
ATLANTIC R&B 1000シリーズ
ご購入・お問合せ:ワーナーミュージック・ジャパン
<http://shop.wmg.jp>



STAGE

パリの名門バレエ団が
鮮やかに舞う
愛の最高傑作
「天井桟敷の人々」

世界最古の歴史を誇るパリ・オペラ座バレエ団が、フランス映画の名作をモチーフにした大作とともにやってくる。19世紀前半のパリ、猥雑なエネルギーに満ちた犯罪大通りを背景に、美貌の女芸人ガランスをめぐって愛、嫉妬、憎しみが交差する…。振付は2008年初演当時エトワールだったジョゼ・マルティネス。イザベル・シアラヴォラ、マチュー・ガニオ、アニエス・ルテステュ、ステファン・ビュリオン他、総勢120名のダンサーがルテステュのデザインによる300着もの衣裳で切ない愛を描く。

●パリ・オペラ座バレエ団「天井桟敷の人々」
¥8,000~25,000(税込) 出演・詳細 <http://parisopera.jp>
※日により出演者は異なります。
<名古屋公演>5/25・26 / 愛知県芸術劇場大ホール
お問合せ:中日新聞コンサートデスク 052-320-9191
<東京公演>5/30・31、6/1 / 東京文化会館大ホール
お問合せ:チケットスペース 03-3234-9999



イザベル・シアラヴォラ



マチュー・ガニオ



アニエス・ルテステュ

FASHION

昭和初期の
織機から
生まれた
やさしいショール



昭和初期の織機を復元改良し、織りの可能性を追求する愛媛県今治市の「工房織座」。1枚ものなのに2つの織りが楽しめる「かさね織りウール混ショール」の魅力もこの旧式織機ならではの、ふんわりとやさしい

風合いは、一度まとったら手放せなくなる。無縫

製のナチュラルで柔らかい織物に、はっきりと鮮やかなカラーリング。心をこめてゆっくりと織られたショールやマフラーと季節を暮らしてみませんか。



●かさね色織り ウール混ショール
綿55% 毛45%・約75×190cm
¥8,400(税込)
<http://oriza.jp>
お問合せ:工房織座 0898-55-2564

DIGITAL

マウスでスキャン?!
ここまで来た!
デジアナ文具革命

テプラ、ポメラなどを通じ、オフィスワークに新発想を提案してきたキングジムから、また驚きの製品が登場した。マウスがなんとスキャナに。付属の専用ソフトを立ち上げ、マウスでなぞるだけで原稿をスキャン。ちょっとしたクリッピングはもちろん、新聞や大判原稿も切らずにスムーズに取り込める。PCで確認しながら作業でき、トリミングや色調整などの編集も可能。解像度は400dpi。通常はマウスとして使える。

●マウス型スキャナ MSC10
Windows7対応・メモリ2GB以上
¥11,550(税込)
<http://www.kingjim.co.jp>
お問合せ:キングジム 0120-79-8107



寒さが身にしみますね。
 そんなときは、生姜をたっぷり！
 今回はカラダをあたためてくれる、
 ぽかぽかレシピを
 ご紹介しましょう。

さて、
 なに作ろう？
開店！

シエスタ食堂

生姜づくし定食

ご飯、メイン、汁物。すべてに生姜が入っている定食です。
 ぽかぽかするだけでなく、すがすがしい生姜の香りが食欲をそそります！



生姜ご飯

【材料】3~4杯分

米:2合 / 出汁:400cc / 生姜(千切り):2カケ / 生姜(すりおろし):小さじ1 / 酒:大さじ2 / みりん:大さじ1 / 塩:小さじ1 / しょう油:大さじ1 / 白ごま:小さじ1

【作り方】

- 1 米は炊く30分前に研ぎ、ざるにあげておく。
- 2 生姜2カケを千切りにし、別に小さじ1杯分をおろしておく。
- 3 土鍋に1の米、2の生姜(千切り、すりおろし)、酒、みりん、塩、しょう油、出汁を加え、ひと混ぜしてから炊く。
- 4 炊きあがったら白ごまを散らしてできあがり。



カジキマグロの生姜焼き

【材料】2人分

カジキマグロ:2切 / タマネギ:1/2コ / パプリカ(オレンジ・黄):各1/2コ / 油:少々 / 黒コショウ(あらびき):塩:各少々 (A) しょう油:大さじ1 / 酒:大さじ1・1/2 / みりん:大さじ1 / 生姜(すりおろし):小さじ1

【作り方】

- 1 カジキマグロは軽く塩をふり、余分な水分をペーパータオルでふきとる。
- 2 タマネギとパプリカは細切りにする。(A)は混ぜ合わせておく。
- 3 フライパンに油を熱し、1と2を焼く。焼き色がついたら、黒コショウとAを加え、さっと味を含めたらできあがり。



長ネギと卵の生姜汁

【材料】2人分

生姜:1カケ / 長ネギ:6cm / 卵:1コ / 出汁:400cc / しょう油:少々 / 塩:少々

【作り方】

- 1 生姜は細めの千切りにする。長ネギは斜め薄切りにする。
- 2 鍋に出汁を入れ、1の生姜と長ネギを加え、火にかける。
- 3 2の材料に火が通ったら、溶き卵をゆっくりと回し入れて、かき玉にする。しょう油と塩で味を調えたらできあがり。

朝食からドリンクまで生姜ぽかぽかレシピ



朝食やランチに! エスニック風味の 生姜チキントースト

【材料】2人分

食パン:2枚/レタス:2枚/鶏もも肉:120g×2枚/油:少々
〈A〉ジンジャーパウダー:小さじ1/コリアンダーパウダー:小さじ1/2
/クミンパウダー:小さじ1/2/パプリカパウダー:小さじ1/2/

【作り方】

- 1 鶏もも肉はすじ切りし、〈A〉のパウダーをまぶして30分ほどおく。
- 2 フライパンに油を熱し、1の鶏もも肉を中に火が通るまで焼く。
- 3 トーストした食パンにレタスを敷き、薄切りにした2の鶏もも肉をのせる。お好みでスライスしたトマトやマヨネーズをトッピングする。



お弁当や作りおきに 生姜たっぷりのそぼろあんかけ

【材料】2人分

カボチャ:中1/2コ/砂糖:大さじ1/しょう油:大さじ1/
鶏挽き肉:140g/水溶性片栗粉(片栗粉:大さじ1、水:大さじ3)
〈A〉生姜(すりおろし):大さじ1/出汁:1/2カップ/酒:大さじ1
/みりん:大さじ1・1/2/しょう油:大さじ1・1/2/砂糖:大さじ1/2

【作り方】

- 1 カボチャはわたを除き、一口大に切って面取りをする。
- 2 鍋に1のカボチャの皮を下にして入れ、出汁(分量外)をひたひたまで入れる。強火にして落としふたをし、煮立ったら弱火で2~3分煮る。しょう油と砂糖を加え、やわらかくなるまで煮る。
- 3 別の鍋に鶏挽き肉とAの調味液を入れて火にかけ、あんかけの素をつくる。
- 4 3のあんかけの素に、2のカボチャの煮汁を入れて火にかけ、水溶性片栗粉でとろみをつけ、カボチャにからめたらできあがり。



生姜チューブで作るドリンク2種 チャイ風&はちみつレモン風

【チャイ風ドリンクの材料と作り方】1人分

温めたミルクティー(適量)に、生姜チューブ(小さじ1)と砂糖(適量)を入れ、器に注ぎ、シナモンスティックでよく混ぜる。

【はちみつレモン風ドリンクの材料と作り方】1人分

レモン汁(大さじ2)、はちみつ(大さじ1/2)、生姜チューブ(小さじ1/2)、水200ccをグラスに入れ、よく混ぜる。

生姜の下ごしらえ

薄切り

魚料理の匂い消しなどに使う。安定したほうを下にして薄く切る。この状態で冷凍しておく、長期保存ができるうえに、凍ったまま1枚ずつから、すりおろしにもできて便利。

千切り

炊き込みご飯や漬物などに使う。繊維に沿って薄切りしたものを、少しずつずらして重ね、やはり繊維に沿って細く切る。なるべく細く切って、水につけてパリッとさせれば、あしらい用の針生姜になる。

すりおろし

生姜焼きや薬味、ドリンクなどに、おろし金ですりおろして使う。生姜焼きに使うときは皮がついたまま、薬味に使うときは薄く皮をむく。

みじん切り

炒め物などに風味付けとして使うことが多い。やや太めに千切りにしたものを、横にそろえて端から細く切り、さらに何度か各方向に刻む。

生姜豆知識

- 生姜は熱帯アジア原産の多年草で、日本でも奈良時代頃から栽培されている。食用にするのは地下の塊茎部分。
- 生姜の辛味成分はジンゲロン類と呼ばれる油状物質で、発汗や健胃作用があるとされている。漢方でも健胃や発汗のほか、解熱、去痰、冷えなどに薬効があるとされ、用いられている。
- 初夏が旬の葉生姜は、谷中生姜・新生姜とも呼ばれ、若い塊茎に茎葉をつけて出荷される。谷中生姜に比べて塊茎が赤く細いのが矢生姜(はじかみ)で、甘酢につけて焼き物などに添えることが多い。11月頃に収穫される根生姜は、塊茎だけのもので、さまざまな調理に欠かせない香味野菜。

生姜でぽかぽか冷え知らず

アイフューザー プラス i-Fusor™ Plus

より安全に、
使いやすく進化した
携帯型精密輸液ポンプ



コンパクトな本体で充実した機能を搭載

大きな液晶とシンプルなパネル操作

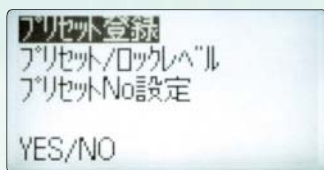
- 漢字及びひらがな表記にも対応

2つの輸液療法モードから選択可能

- PCAモード ●連続モード

使いやすく、安全性を重視したPCA投与

- プリセットモード ●ロックレベル設定モード



プリセットモード



ロックレベル設定モード

充実した安全性・安心機構

- セーフロック機能 ●パスワード設定管理

made in Japan

販売名及び医療機器承認番号：アイフューザー プラス 22100BZX00017000



<http://www.jms.cc>

株式会社 ジェイ・エム・エス

東京本社 〒140-0013 東京都品川区南大井1丁目13番5号 新南大井ビル
TEL(03)6404-0600 FAX(03)6404-0610

広島本社 〒730-8652 広島市中区加古町12番17号
TEL(082)243-5844 FAX(082)243-5997

2003医療事故防止対策通知^{*}対応



本マークは医療事故対策のために設定された厚生労働省基準に適合することを示す業界の自主的なマークです。

^{*}関連企業を対象とした厚生労働省通知「輸液ポンプ等に関する医療事故防止対策について」 医薬発第0318001号：平成15年3月18日

2010.12LP

《表紙の言葉》ベルギー北西部の古都ブルー・ジュ。運河が縦横に通る町は「屋根のない美術館」とも呼ばれ、毛織物の交易で栄えた中世の面影をそのまま残している。氷点下まで冷え込む冬場、氷の上で鴨たちも寒そうに羽を休める。(写真：早坂正志/Aflo)

制作：株式会社DNPメディアクリエイト 企画・編集：HARUMI INC. デザイン：山田デザインオフィス 印刷：株式会社 DNP西日本